

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
1	前期授業内容ガイダンス								
2	インターンシップの心得 1								
3	インターンシップの心得 2								
4	事前準備 1	教案作成 1							
5	事前準備 2	教案作成 2							
6	事前準備 3	教案作成 3							
7	事前準備 4	教案作成 4							
8	事前準備 5	教案作成 5							
9	事前準備 6	模擬授業 1							
10	事前準備 7	模擬授業 1 の F B							
11	事前準備 8	模擬授業 2							
12	事前準備 9	模擬授業 2 の F B							
13	事前準備 10	模擬授業 3							
14	事前準備 11	模擬授業 3 の F B							
15	事前準備 12	模擬授業 4							
教科書	みんなの日本語 初級 I / スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級 I 教え方の手引き / スリーエーネットワーク								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
16	事前授業 1 3	模擬授業 4 の F B							
17	事前授業 1 4	模擬授業 総評 1							
18	事前授業 1 5	教案作成 6							
19	事前授業 1 6	教案作成 7							
20	事前授業 1 7	教案作成 8							
21	事前授業 1 8	教案作成 9							
22	事前授業 1 9	教案作成 1 0							
23	事前授業 2 0	教案作成 1 1							
24	事前授業 2 1	教案作成 1 2							
25	事前授業 2 2	教案作成 1 3							
26	事前授業 2 3	教案作成 1 4							
27	事前授業 2 4	教案作成 1 5							
28	事前授業 2 5	模擬授業 5							
29	事前授業 2 6	模擬授業 5 の F B							
30	事前授業 2 7	模擬授業 6							
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
31	事前準備 2 8 模擬授業 6 の F B								
32	事前準備 2 9 模擬授業 7								
33	事前準備 3 0 模擬授業 8								
34	事前準備 3 1 模擬授業 8 の F B								
35	事前授業 3 2 模擬授業 総評 2								
36	事前授業 3 3 教案作成 1 6								
37	事前授業 3 4 教案作成 1 7								
38	事前授業 3 5 教案作成 1 8								
39	事前授業 3 6 教案作成 1 9								
40	事前授業 3 7 教案作成 2 0								
41	事前授業 3 8 教案作成 2 1								
42	事前授業 3 9 教案作成 2 2								
43	事前授業 4 0 教案作成 2 3								
44	事前授業 4 1 教案作成 2 4								
45	事前授業 4 2 教案作成 2 5								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
46	事前準備 4 3 模擬授業 9								
47	事前準備 4 4 模擬授業 9 の F B								
48	事前準備 4 5 模擬授業 1 0								
49	事前準備 4 6 模擬授業 1 0 の F B								
50	事前準備 4 7 模擬授業 1 1								
51	事前準備 4 8 模擬授業 1 1 の F B								
52	事前準備 4 9 模擬授業 1 2								
53	事前準備 5 0 模擬授業 1 2 の F B								
54	事前準備 5 1 模擬授業 総評 3								
55	事前準備 5 2 教案作成 2 6								
56	事前準備 5 3 教案作成 2 7								
57	事前準備 5 4 教案作成 2 8								
58	事前準備 5 5 教案作成 2 9								
59	事前準備 5 6 教案作成 3 0								
60	事前準備 5 7 教案作成 3 1								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
61	事前授業5 8 教案作成3 2								
62	事前授業6 0 教案作成3 3								
63	事前授業6 1 教案作成3 4								
64	事前授業6 2 教案作成3 5								
65	事前授業6 3 教案作成3 6								
66	事前授業6 4 教案作成3 7								
67	事前授業6 5 教案作成3 8								
68	事前授業6 6 教案作成3 9								
69	事前授業6 7 教案作成4 0								
70	事前授業6 8 教案作成4 1								
71	事前授業6 9 教案作成4 2								
72	事前授業7 0 教案作成4 3								
73	事前授業7 1 教案作成4 4								
74	事前授業7 2 教案作成4 5								
75	事前授業7 3 教案作成4 6								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
76	事前授業 7 4 教案作成 4 7								
77	事前授業 7 5 教案作成 4 8								
78	事前授業 7 6 教案作成 4 9								
79	事前授業 7 7 教案作成 5 0								
80	事前授業 7 8 教案作成 5 1								
81	事前授業 7 9 教案作成 5 2								
82	事前授業 8 0 教案作成 5 3								
83	事前授業 8 1 教案作成 5 4								
84	事前授業 8 2 教案作成 5 5								
85	事前授業 8 3 教案作成 5 6								
86	事前授業 8 4 教案作成 5 7								
87	事前授業 8 5 教案作成 5 8								
88	事前授業 8 6 教案作成 5 9								
89	事前授業 8 7 教案作成 6 0								
90	事前授業 8 8 教案作成 6 1								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
91	現場実習 1								
92	現場実習 2								
93	現場実習 3								
94	現場実習 4								
95	現場実習 5								
96	現場実習 6								
97	現場実習 7								
98	現場実習 8								
99	現場実習 9								
100	現場実習 1 0								
101	現場実習 1 1								
102	現場実習 1 2								
103	現場実習 1 3								
104	現場実習 1 4								
105	現場実習 1 5								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
106	現場実習 1 6								
107	現場実習 1 7								
108	現場実習 1 8								
109	現場実習 1 9								
110	現場実習 2 0								
111	現場実習 2 1								
112	現場実習 2 2								
113	現場実習 2 3								
114	現場実習 2 4								
115	現場実習 2 5								
116	現場実習 2 6								
117	現場実習 2 7								
118	現場実習 2 8								
119	現場実習 2 9								
120	現場実習 3 0								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								



## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
121	現場実習 3 1								
122	現場実習 3 2								
123	現場実習 3 3								
124	現場実習 3 4								
125	現場実習 3 5								
126	現場実習 3 6								
127	現場実習 3 7								
128	現場実習 3 8								
129	現場実習 3 9								
130	事後指導 1								
131	事後指導 2								
132	事後指導 3								
133	事後指導 4								
134	事後指導 5								
135	事後指導 6								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	インターンシップ			単位数	10	授業形態	講義・演習・ <b>実習</b>	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	150	時数	300	配当学年	4	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	今まで学んだ教育に関する知識・技術を、教育の現場で実際に行い、直接肌で感じ、身をもって検証する機会であり、日本語学校教務課の先生をはじめとする多くの教職員の指導を受けながら、「先生」という立場で経験することになる。留学生とのコミュニケーションの取り方や授業外での活動を支援する教師としての役割								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
136	事後指導 7								
137	事後指導 8								
138	事後指導 9								
139	事後指導 1 0								
140	事後指導 1 1								
141	事後指導 1 2								
142	事後指導 1 3								
143	事後指導 1 4								
144	事後指導 1 5								
145	事後指導 1 6								
146	事後指導 1 7								
147	事後指導 1 8								
148	事後指導 1 9								
149	事後指導 2 0								
150	事後指導 2 1								
教科書	みんなの日本語 初級 I /スリーエーネットワーク								
参考図書	みんなの日本語 初級I 教え方の手引き /スリーエーネットワーク								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	キャリアデザイン			単位数	4	授業形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	30	時数	60	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修選択	<b>必修</b> ・選択
目的	様々な媒体を通して企業研究を行う。そのうえで自分に合った業界・業種を知り、履歴書やエントリーシート添削、模擬面接、髪型や服装に対する指導を行う。また、効果的な話し方講座や企業ガイダンス等を通して、一人ひとりに合わせたきめ細かい対応をしていく。								
到達基準	①企業研究の方法として、どのような媒体から、どのような情報を入手するべきかを、実際に自分が希望する業界、企業について調べる力を身につける。 ②エントリーシートの書き方、面接のポイントを指摘し、実際の面接のロールプレイングをして、就職活動を強く意識させる。								
教育の進め方	基本的にはシラバスに従って進めるが、時期によって学校行事に伴った内容変更も実施する。								
回数	教 育 内 容								
1	イントロダクション～なぜキャリアをデザインする必要があるのか								
2	職業の世界・働くことの意義～働くことについての考え方を比較しながら職業観と社会に役立つための視点を考える								
3	業種と職種～職業選択において業種や職種を考慮する必要性								
4	チームの中の個人（1）～チームになって協力して答えを見つけていくための方法と、その中での自分の行動								
5	キャリアの心理学～自分のキャリアをデザインするうえで参考となるキャリアに関する考え方								
6	人の特性を考える～対人行動やその背景にある動機を知る手がかりとなる心理学の考え方								
7	チームの中の個人（2）～前回のチーム活動をふまえて、目的に合わせてチーム活動をうまくするための工夫								
8	職場の心理学（1）～働く人の仕事や組織への適応プロセスと仕事の満足や組織に対する信頼形成								
9	キャリアとストレス～ストレスの発生や促進要因とストレス対処について								
10	職場の心理学（2）～ワークを通じて公平感と職場運営について考える								
11	職場や仕事の理解（1）～事例を入れながら理解のための方法を学び、それぞれの企業の共通点と差異点を考える								
12	職場や仕事の理解（2）～企業や団体等について、どのような情報が入手でき、何が入手しにくいのか								
13	表現のスキル～プレゼンテーションと説得行動								
14	前期まとめ								
15	理解度試験								
教科書	レジュメや配布資料をもとに授業を行う。								
参考図書	日本語教師の働き方(PC資料)								
器 材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	キャリアデザイン			単位数	4	授業形態	講義・ <b>演習</b> ・実習	作成担当講師	川端 土筆
授業回数	30	時数	60	配当学年	3	時期	<b>通年</b> ・前期・後期	必修 選択	<b>必修</b> ・選択
目的	様々な媒体を通して企業研究を行う。そのうえで自分に合った業界・業種を知り、履歴書やエントリーシート添削、模擬面接、髪型や服装に対する指導を行う。また、効果的な話し方講座や企業ガイダンス等を通して、一人ひとりに合わせたきめ細かい対応をしていく。								
到達基準	①企業研究の方法として、どのような媒体から、どのような情報を入手するべきかを、実際に自分が希望する業界、企業について調べる力を身につける。 ②エントリーシートの書き方、面接のポイントを指摘し、実際の面接のロールプレイングをして、就職活動を強く意識させる。								
教育の進め方	基本的にはシラバスに従って進めるが、時期によって学校行事に伴った内容変更も実施する。								
回数	教 育 内 容								
16	就活を始めよう～Change the View～								
17	人は何故仕事をするの？～人は何故仕事をしなければならないのか？を考える								
18	業界研究～業界研究とは何をするのか？を学ぶ								
19	会社研究～就職活動の際の「志望動機」を描くために何を研究するのかを学ぶ								
20	ビジネス体験～企画を立ててみる～グループでビジネスプランを考えてプレゼンテーション								
21	自己分析①～自分の未来を考える/ビジョンを描くことの大切さを学ぶ								
22	自己分析②～今までの自分の経験や価値観を振り返る								
23	情報発信力を磨く～自分の意見を発信するためのトレーニングを行う								
24	エントリーシートにチャレンジ①～企業の選考書類であるエントリーシートとは何か？そのポイントを学ぶ								
25	エントリーシートにチャレンジ②～基本的な設問意外での問いのパターンを知り、自分ならどのように答えるか？を考える								
26	グループディスカッション～グループディスカッションのパターンと取り組み方を学ぶ								
27	面接①～面接のパターンを学ぶ								
28	面接②～面接での対話を想定して「伝える内容」を考え、模擬面接を実施								
29	後期まとめ								
30	理解度試験								
教科書	レジュメや配布資料をもとに授業を行う。								
参考図書	日本語教師の働き方(PC資料)								
器材	P C								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	卒業研究				単位数	授業形態		作成担当講師	
					8	講義 (演習)・実習		川端 土筆	
授業回数	60	時数	120	配当学年	4	時期	通年 (前期) 後期	必修 選択	(必修)・選択
目的	卒業研究をする経過で将来、日本語教師として社会人として自分で考え、結果を出すし行動する能力を身に付ける。								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
1	前期授業内容ガイダンス								
2	テーマを決める①								
3	テーマを決める②								
4	テーマを決める③								
5	情報収集①								
6	情報収集②								
7	情報収集③								
8	情報収集④								
9	情報収集⑤								
10	情報分析①								
11	情報分析②								
12	情報分析③								
13	情報分析④								
14	情報分析⑤								
15	情報分析⑥								
教科書	評価される博士・修士卒業論文の書き方・考え方 (同文館出版)								
参考図書	上記書籍の資料・データ								
器材	PC								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	卒業研究				単位数	授業形態		作成担当講師	
					8	講義 (演習)・実習		川端 土筆	
授業回数	60	時数	120	配当学年	4	時期	通年 (前期) 後期	必修 選択	(必修)・選択
目的	卒業研究をする経過で将来、日本語教師として社会人として自分で考え、結果を出すし行動する能力を身に付ける。								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
16	キーワードの選択①								
17	キーワードの選択②								
18	キーワードの選択③								
19	キーワードの選択④								
20	キーワードの選択⑤								
21	レジュメの作り方①								
22	レジュメの作り方②								
23	データの読み方・作成①								
24	データの読み方・作成②								
25	データの読み方・作成③								
26	データの読み方・作成④								
27	データの読み方・作成⑤								
28	データの読み方・作成⑥								
29	データの読み方・作成⑦								
30	データの読み方・作成 まとめ								
教科書	評価される博士・修士卒業論文の書き方・考え方 (同文館出版)								
参考図書	上記書籍の資料・データ								
器材	PC								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	卒業研究				単位数	授業形態		作成担当講師	
					8	講義 (演習)・実習		川端 土筆	
授業回数	60	時数	120	配当学年	4	時期	通年 (前期) 後期	必修 選択	(必修)・選択
目的	卒業研究をする経過で将来、日本語教師として社会人として自分で考え、結果を出すし行動する能力を身に付ける。								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
31	文章構成①								
32	文章構成②								
33	文章構成③								
34	文章構成④								
35	文章構成⑤								
36	文章構成 まとめ								
37	プレゼンテーションの仕方・作成①								
38	プレゼンテーションの仕方・作成②								
39	プレゼンテーションの仕方・作成③								
40	プレゼンテーションの仕方・作成④								
41	プレゼンテーションの仕方・作成⑤								
42	プレゼンテーションの仕方・作成⑥								
43	プレゼンテーションの仕方・作成⑦								
44	プレゼンテーションの仕方・作成⑧								
45	プレゼンテーションの仕方・作成⑨								
教科書	評価される博士・修士卒業論文の書き方・考え方 (同文館出版)								
参考図書	上記書籍の資料・データ								
器材	PC								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								

## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開講科目名	卒業研究				単位数	授業形態		作成担当講師	
					8	講義 (演習)・実習		川端 土筆	
授業回数	60	時数	120	配当学年	4	時期	通年 (前期) 後期	必修選択	(必修)・選択
目的	卒業研究をする経過で将来、日本語教師として社会人として自分で考え、結果を出すし行動する能力を身に付ける。								
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル								
教育の進め方	各自が決めたテーマを、実験・観察・調査等を行い、データ分析・思考し論文をまとめるはプレゼンテーションを行う。								
回数	教 育 内 容								
46	プレゼンテーションの仕方・作成⑩								
47	プレゼンテーションの仕方・作成 まとめ①								
48	プレゼンテーションの仕方・作成 まとめ②								
49	プレゼンテーション①								
50	プレゼンテーション② F B								
51	プレゼンテーション③								
52	プレゼンテーション④ F B								
53	プレゼンテーション⑤								
54	プレゼンテーション⑥ F B								
55	プレゼンテーション⑦								
56	プレゼンテーション⑧ F B								
57	卒業研究 総まとめ①								
58	卒業研究 総まとめ②								
59	卒業研究 総まとめ③								
60	卒業研究 総まとめ④								
教科書	評価される博士・修士卒業論文の書き方・考え方 (同文館出版)								
参考図書	上記書籍の資料・データ								
器材	PC								
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。								



## 2020年度授業概要

グローバルキャリア日本語教師養成学科

開 講科目名	日本文化研究			単位数	授業形態	作成担当講師
				8	講義・演習・実習	川端 土筆
授業回数	60	時数	120	配当学年	4	時期
						通年・前期・後期
目的	前期：文章作成に必要な知識、小論文作成の方法を学ぶ 後期：日本文化を様々な観点から比較考察し、小論文を作成する。					
到達基準	日本語教育能力検定試験合格レベル					
教育の進め方	プレゼンテーションを行って、リサーチの成果を図る。					
回数	教 育 内 容					
1	前期授業内容ガイダンス					
2	日本文化研究概要説明・シラバス確認、アンケート調査					
3	日本文化と日本語のひろがり					
4	日本文化とサブカルチャー①					
5	日本文化とサブカルチャー②					
6	日本文化の残し方①					
7	日本文化の残し方②					
8	日本文化の残し方③					
9	日本文化の伝え方①					
10	日本文化の伝え方②					
11	日本文化の伝え方③					
12	日本語教育能力検定試験対策 情報収集					
13	日本語教育能力検定試験対策 解答時にすべきこと					
14	前期まとめ/前期試験対策					
15	前期試験					
教科書	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』					
参考図書	日本語教育能力検定試験 合格するための問題集					
器 材	P C					
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。					

16	後期授業内容ガイダンス
17	小論文作成「着物・ゆかた」① 情報収集・初期作成
18	小論文作成「着物・ゆかた」② 全体討論・修正・提出
19	小論文作成「正月とおせち」① 情報収集・初期作成
20	小論文作成「正月とおせち」② 全体討論・修正・提出
21	小論文作成「増える残業」① 情報収集・初期作成
22	小論文作成「増える残業」② 全体討論・修正・提出
23	小論文作成「日本社会の中での方言」① 情報収集・初期作成
24	小論文作成「日本社会の中での方言」② 全体討論・修正・提出
25	小論文作成「日本語の乱れ」① 情報収集・初期作成
26	小論文作成「日本語の乱れ」② 全体討論・修正・提出
27	小論文作成「規範と異なる表記」① 情報収集・初期作成
28	小論文作成「規範と異なる表記」② 全体討論・修正・提出
29	小論文作成「どのような教師を目指していくのか」① 情報収集・初期作成
30	小論文作成「どのような教師を目指していくのか」② 全体討論・修正・提出
教科書	『日本語教育能力検定試験完全攻略ガイド』
参考図書	日本語教育能力検定試験 合格するための問題集
器材	PC
評価の方法	課題または定期試験、もしくはその両方に出席状況・授業態度・履修状況等を総合的に勘案し、評価とする。